



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年  
9月

2022年9月30日

Vol  
164

## イギリスと私たちの資産形成との深い関係性

9月8日、イギリス王室で歴代最長となる70年もの間、君主の座に就いていたエリザベス女王が96歳でお亡くなりになりました。「世界でもっとも有名な女王」といわれる女王の死去に、世界中から悲しみの声が寄せられています。伝統を重んじるイギリス王室の格式を守りながら、SNSなどを通じて国民と積極的に交流するなど、開かれた王室を求め続け、世界中の多くの人々から慕われたエリザベス女王。

今回は、エリザベス女王に敬意を表し、イギリスと私たちの資産形成との深い関係性についてお話したいと思います。

### ■エリザベス女王の足跡(一部)

| 西暦   | 主なできごと   |
|------|--|
| 1926 | ロンドンで生まれる  |
| 1936 | 父・ジョージ6世が即位し、王位継承順位1位に                                     |
| 1947 | ギリシャの王族出身で海軍軍人であったフィリップ殿下と結婚                               |
| 1948 | 長男のチャールズ王子(現チャールズ国王)が誕生                                    |
| 1952 | 父の死去で、25歳で即位<br>「人生が長くても短くても、皆さんと帝国への奉仕に命を捧げます」            |
| 1975 | 女王として初めて来日<br>「新幹線は時計よりも正確だと聞いています」                        |
| 2002 | 即位50年「ゴールデンジュビリー」  |
| 2015 | 在位期間がイギリスの君主として最長に<br>(ビクトリア女王の63年216日を超える)                |
| 2020 | 新型コロナウイルスの流行を受け、国民に向けテレビ演説を行なう<br>「私たちが結束すれば病気に打ち勝つことができる」 |
| 2022 | 即位70年「プラチナジュビリー」<br>保守党のリズ・トラス党首を首相に任命<br>9月8日、96歳で死去      |

※各種報道をもとに日興アセットマネジメントが作成

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年  
9月

## 「信託」・「資産運用」の発祥の地イギリス

いまでは当たり前に使われている「信託」や「資産運用」といった言葉や概念ですが、その起源がイギリスにあることをご存じでしょうか。

「信託」制度のはじまりは、中世のイギリスで利用されていた、自分または他の人の利益のために、信頼できる人にその財産を譲渡する「ユース(use)」という制度にあるといわれています。その後、時代の変遷を経て、人と人との信頼関係に基づくものであることから、信頼を意味する「トラスト(Trust)」という言葉で呼ばれるようになっていきました。

また、近代的な「資産運用」の起源は、スコットランド・エジンバラにあるといわれています。18世紀初頭、亡くなった友人の遺族が、収入源を絶たれ苦しい生活を強いられる状況を目にした2人のスコットランドの牧師がつくりあげたシステム(のちに、「スコットランド牧師の寡婦年金(スコティッシュ・ウイドウズ)」と呼ばれる)が、資産運用のはじまりとされています。

このように、イギリスは「信託」や「資産運用」の起源、発祥の地といわれています。



スコットランド・エジンバラの街並み



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年  
9月

## イギリスの税制優遇制度をモデルに設計されたNISA

私たち日本人が資産形成で活用している「少額投資非課税制度(NISA)」も、イギリスで導入された税制優遇制度をモデルにしています。

イギリスのISA(Individual Savings Account)は、1999年に国民の貯蓄率の向上を目的として導入された制度で、今日では、成人人口の約半数がISA口座を保有するなど、英国国民の資産形成の手段として広く認知・利用されています。その理由のひとつに、非課税期間の恒久化が挙げられています。期限を気にすることなく、誰もが好きなタイミングで資産形成に取り組むことができるため、資産残高・口座数の拡大に多大な貢献をしたとの指摘が多く見られます。

対して、かねてより使い勝手の悪さや複雑な仕組みが指摘され、資産残高が伸び悩んでいた我が国のNISAにも、改革の兆しを感じさせるニュースが報じられました。9月22日、ニューヨーク証券取引所で講演を行なった岸田首相は、時限措置のあるNISAについて「恒久化が必須だ」と表明しました。恒久化が実現すれば、制度利用者の増加にとどまらず、投資家の裾野が一気に広がる可能性があることから大きな期待を集めています。

### ■英ISAの主な制度概要

非課税期間は恒久化

スイッチング可  
(商品の入れ替え自由)

拠出限度額は2万ポンド  
(約320万円)

### ■(ご参考)NISAの主な制度概要

非課税期間は有期限

スイッチング不可  
(売却すると、  
非課税枠がなくなる)

拠出限度額は120万円  
※一般NISAの場合

※ISA,NISAともに資料作成時点

※HMRC(歳入関税庁)、金融庁、日本証券業協会などのデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年  
9月

## 今日の私たちの資産形成に大きな影響を与えるイギリス

今回は、エリザベス女王の死去を受けて、あらためて資産運用・資産形成の点からイギリスにスポットをあててお話してきました。「信託」や「資産運用」の発祥の地であったり、NISAのお手本となる制度が生まれた国であったりと、今日の私たちの資産形成において、重要な役割と大きな影響を与える国であることをお分かりいただけただでしょうか。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00